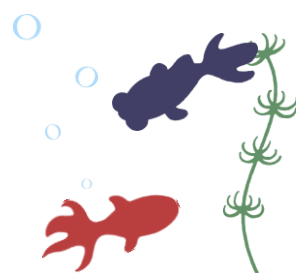




図書館サポーターズだより

明日に吹く風



とても暑い季節がやってきましたね。待ちに待った夏休み、皆さんはどのような計画を立てていますか？涼しい場所で過ごしたい人も多いと思います。そんな時は、ぜひ冷房の効いた図書館でサポーターズおすすめの1冊を読んでみてください！

～図書館サポーター推薦図書～

『噛み合わない会話と、ある過去について』

辻村 深月 著 (913.6 || Ts44)

日常生活を送っている中で様々な思いや考えを持つと思います。全員が自分と同じ気持ちとは限りません。思いや考えを言葉にすれば、良いほうに転ぶこともあれば悪いほうに転ぶこともあります。気持ちを言葉にすることは、勇気があることでとても難しいですね。

この本はそんなモヤモヤした気持ちを書き出しており、どこか考えさせられるような内容がぎゅっと詰まっています。今までの自分の生活を振り返りたくなるような、そんな作品です。四つの物語の短編集となっており、長編の物語が苦手な方も気軽に読めます。著者辻村深月の描写に、読者の皆さんは共感すること間違いなしです。ご自身の実体験と照らし合わせ、いろんな思いを馳せながら読んでみてください。



(K. Y)

『もののけ姫』

宮崎 駿 著 (726.5 || Mi88)

「もののけ姫」。誰もが一度は聞いたことがあるジブリ映画の名作で大学図書館にもDVDがあります。この本は映画もののけ姫の「イメージボード」と宮崎駿監督が話されています。私たちの知る「もののけ姫」は「里を追われた青年アシタカと山犬に育てられた女の子サンを中心に描かれる人間ともののけの闘い」です。しかし、この本に描かれていた「もののけ姫」は「父親の口約束により、もののけに嫁ぐことになった姫の話」なのです。よく知るタイトルなのに全く知らない物語。この本の物語と映画の物語を比べてみませんか？あなたが気に入る「もののけ姫」の物語はこのイメージボードの作品？それとも映画？ぜひ比べてみてください！



(H. T)

『ミュージアムグッズ

のチカラ』

大澤 夏美 著 (069.21 || O74)

ミュージアムグッズといえば、どんなものを思い浮かべますか？図録やキーホルダーなど思い出になる商品を想像する方が多いでしょうか。博物館におけるグッズとは、社会教育施設としての使命を伝える手段でもあります。言わば、ミュージアムグッズは“博物館のエンドロール”なのです。

この本では、全国各地の博物館で販売されているグッズを厳選して、写真・誕生秘話と共に紹介しています。中でも私のおすすめは、国立民族学博物館の『世界のあいさつ・ありがとうスタンプ』です。外国語を学ぶことができるだけでなく、友達と楽しみを共有できるところが魅力です。

夏休みはこの本を読んで、ぜひ博物館でお気に入りのミュージアムグッズを探してみてください！

(S. K)



*図書はメインカウンター脇にあります。ご利用ください。